

平成 26 年度 福岡教育大学 2 次試験前期日程 (数学問題)

教育学部 平成 26 年 2 月 25 日

- 中等教育 (数学専攻) は, [1] ~ [4] 数 I・II・III・A・B・C (120 分)
- 初等教育 (数学専修) は, [1], [5] ~ [7] 数 I・II・III・A・B・C (120 分)

[1] 次の問いに答えよ.

(1) $0 \leq x \leq \pi$, $0 \leq y \leq \pi$ のとき, 連立方程式

$$3 \sin x - \sin y = \sqrt{3}, \quad 3 \cos x + \cos y = -1$$

を解け.

(2) a, b, c を実数とする. $a + b + c = \frac{1}{a} + \frac{1}{b} + \frac{1}{c} = 1$ である. a, b, c のうち少なくとも 1 つは 1 に等しいことを示せ.

(3) 0, 1, 2, 3, 4, 5 の数字が 1 つずつ記入された 6 枚のカードが入っている箱から 1 枚ずつ 3 枚のカードを取り出し, 左から並べて自然数 n を作る時, 次の (ア), (イ) に答えよ. ただし, 例えば 012 は 12 を表すものとする.

(ア) n が 3 桁の自然数になるのは何通りか.

(イ) 3 桁の自然数 n を作った後, 箱の中に残っている 3 枚のカードを左から並べて 3 桁の自然数 m を作る時, $n + m = 555$ となる n は何通りか.

[2] 平面上に $\triangle OAB$ と点 P があり, 実数 k, m, n に対して

$$k\vec{PO} + m\vec{PA} + n\vec{PB} = \vec{0}$$

が成り立つとする. 次の問いに答えよ.

- (1) $k = 4, m = 1, n = 2$ のとき, $\triangle POA, \triangle POB, \triangle PAB$ の面積比を最も簡単な整数の比で表せ.
- (2) k を 0 以上の定数とする. 点 P が $m \geq 0, n \geq 0, m + n = 3$ を満たしながら動くとき, 点 P の軌跡は線分になることを示せ.
- (3) 点 P が $k \geq 1, m \geq 0, n \geq 0, m + n = 3$ を満たしながら動くとき, 点 P の存在する領域 D を図示せよ. また, 領域 D の面積は $\triangle OAB$ の面積の何倍になるかを求めよ.

- 3 a を定数とする. $a_n = -2n + a$ で定められる数列 $\{a_n\}$ を次のような群に分け, 第 k 群には k 個の項が入るようにする.

$$\begin{array}{ccccccc} a_1 & | & a_2, a_3 & | & a_4, a_5, a_6 & | & a_7, a_8, a_9, a_{10} & | & \cdots \\ \text{第 1 群} & & \text{第 2 群} & & \text{第 3 群} & & \text{第 4 群} & & \end{array}$$

第 k 群に含まれるすべての項の和を S_k とするとき, 次の問いに答えよ.

- (1) S_k を求めよ.
 - (2) $a = 212$ のとき, S_k が最大となる群に含まれる項の平均値を求めよ.
 - (3) $a = 92$ のとき, $|S_k| = |S_{k+1}|$ を満たす k を求めよ.
- 4 a を正の定数とする. 関数 $f(x)$ は

$$f(x) = 2 \cos x - a \int_0^{\frac{\pi}{2}} f(t) \sin x dt$$

を満たしているとする. 次の問いに答えよ.

- (1) $f(x)$ を求めよ.
 - (2) $\int_0^{\pi} f(x) \sin x dx = -\frac{\pi}{2}$ を満たす定数 a の値を求めよ.
 - (3) a が (2) で求めた値のとき, 次の (ア), (イ) に答えよ.
 - (ア) $0 \leq x \leq \pi$ における関数 $f(x)$ の最大値と最小値を求めよ.
 - (イ) $\int_0^{\pi} |f(x)| dx$ の値を求めよ.
- 5 正六角形 ABCDEF において, 辺 DE の中点を P とし, 線分 AP と BF の交点を Q とする. 次の問いに答えよ.

- (1) \overrightarrow{AP} を \overrightarrow{AB} と \overrightarrow{AF} を用いて表せ.
- (2) AQ : QP を最も簡単な整数の比で表せ.
- (3) $|\overrightarrow{AB}| = 1$ のとき, $\triangle BPQ$ の面積を求めよ.

- 6 $a_n = -2n + 212$ で定められる数列 $\{a_n\}$ を次のような群に分け、第 k 群には k 個の項が入るようにする.

$$\begin{array}{ccccccc} a_1 & | & a_2, a_3 & | & a_4, a_5, a_6 & | & a_7, a_8, a_9, a_{10} & | & \cdots \\ \text{第 1 群} & & \text{第 2 群} & & \text{第 3 群} & & \text{第 4 群} & & \end{array}$$

第 k 群に含まれるすべての項の和を S_k とするとき、次の問いに答えよ.

- (1) S_k を求めよ.
 - (2) S_k が最大となる群に含まれる項の平均値を求めよ.
 - (3) $|S_k| = |S_{k+1}|$ を満たす k を求めよ.
- 7 a を正の定数とし、曲線 $y = \frac{\log x}{a}$ を C とする. 次の問いに答えよ. ただし、対数は自然対数とし、 e は自然対数の底とする.

- (1) 点 $\left(0, 1 - \frac{1}{a}\right)$ から曲線 C に引いた接線の方程式を a を用いて表せ.
- (2) (1) で求めた接線と曲線 C と x 軸によって囲まれた部分のうち第 1 象限の部分の面積を a を用いて表せ.
- (3) 曲線 C が曲線 $y = \frac{x^2}{2e}$ と共有点を持ち、その点における 2 つの曲線の接線が一致しているとき、曲線 C と曲線 $y = \frac{x^2}{2e}$ と x 軸によって囲まれた部分の面積を求めよ.

正解

1 (1) 与えられた2式から

$$\sin y = 3 \sin x - \sqrt{3} \quad \cdots \textcircled{1}, \quad \cos y = -3 \cos x - 1 \quad \cdots \textcircled{2}$$

①, ②を $\sin^2 y + \cos^2 y = 1$ に代入すると

$$(3 \sin x - \sqrt{3})^2 + (-3 \cos x - 1)^2 = 1$$

整理すると $\sqrt{3} \sin x - \cos x = 2$ ゆえに $\sin\left(x - \frac{\pi}{6}\right) = 1$

$0 \leq x \leq \pi$ であるから $x = \frac{2}{3}\pi$

これを ①, ②に代入すると

$$\sin y = \frac{\sqrt{3}}{2}, \quad \cos y = \frac{1}{2}$$

$0 \leq y \leq \pi$ であるから $y = \frac{\pi}{3}$

(2) 与えられた条件から

$$1 - (a + b + c) = 0, \quad ab + bc + ca - abc = 0$$

ここで, $f(x) = (x - a)(x - b)(x - c)$ とおくと, 3次方程式 $f(x) = 0$ の解は, a, b, c である. このとき, 上の2式より

$$\begin{aligned} f(1) &= (1 - a)(1 - b)(1 - c) \\ &= 1 - (a + b + c) + ab + bc + ca - abc \\ &= 0 \end{aligned}$$

したがって, 1は, $f(x) = 0$ の解である.

よって, a, b, c のうち少なくとも1つは1に等しい.

- (3)(ア) 0, 1, 2, 3, 4, 5の6枚のカードから3枚のカードを取り出し左から並べてできる自然数の個数は

$${}_6P_3 = 120 \text{ (通り)}$$

このうち、2桁の自然数の個数は

$${}_5P_2 = 20 \text{ (通り)}$$

よって、求める個数は $120 - 20 = \mathbf{100}$ (通り)

- (イ) $A = \{0, 5\}$, $B = \{1, 4\}$, $C = \{2, 3\}$, $a \in A$, $b \in B$, $c \in C$ とすると、3桁の自然数 n は a, b, c を並べる次の4通りである.

$$bac, bca, cab, cba$$

a, b, c の選び方は、それぞれ2通りであるから、求める場合の数は

$$4 \times 2^3 = \mathbf{32} \text{ (通り)}$$

- 2 (1) 線分 AB を $n : m$ に内分する点を Q とすると

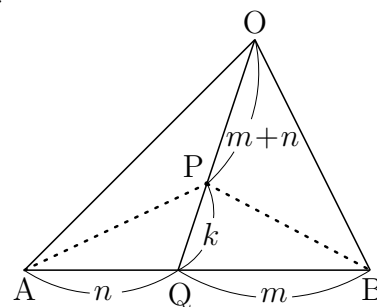
$$m\vec{PA} + n\vec{PB} = (m+n)\vec{PQ}$$

これを条件式

$$k\vec{PO} + m\vec{PA} + n\vec{PB} = \vec{0} \quad \dots (*)$$

に代入すると

$$k\vec{PO} + (m+n)\vec{PQ} = \vec{0} \quad \dots (**)$$



P は線分 OQ を $m+n : k$ に内分する点であるから、 $S = \triangle OAB$ とおくと

$$\triangle PAB = \frac{k}{k+(m+n)}S,$$

$$\begin{aligned} \triangle POB &= \frac{m+n}{k+(m+n)}\triangle OBQ \\ &= \frac{m+n}{k+(m+n)} \times \frac{m}{m+n}S = \frac{m}{k+(m+n)}S, \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \triangle POA &= \frac{m+n}{k+(m+n)}\triangle OAQ \\ &= \frac{m+n}{k+(m+n)} \times \frac{n}{m+n}S = \frac{n}{k+(m+n)}S \end{aligned}$$

(*) が成り立つとき $\triangle PAB : \triangle POB : \triangle POA = k : m : n$

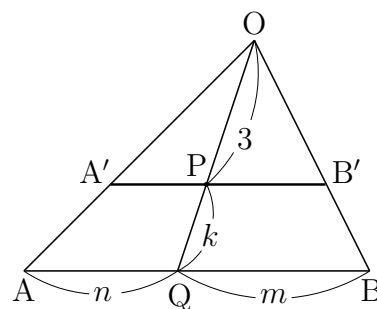
よって $\triangle POA : \triangle POB : \triangle PAB = n : m : k = 2 : 1 : 4$

- (2) $m+n=3$ を (**) に代入すると

$$-k\vec{OP} + 3(\vec{OQ} - \vec{OP}) = \vec{0}$$

$$\text{ゆえに} \quad \vec{OP} = \frac{3}{k+3}\vec{OQ}$$

OA, OB を $3 : k$ に内分する点を, それぞれ A', B' とする. $m \geq 0, n \geq 0$ であるから, 点 P の軌跡は線分 $A'B'$ である.



- (3) $k=1$ のとき, A', B' は, それぞれ OA, OB を $3 : 1$ に内分する点であるから, $k \geq 1, m \geq 0, n \geq 0$ のとき, D の表す領域は $\triangle OA'B'$ である. したがって, D の面積は $\triangle OAB$ の面積の

$$\left(\frac{3}{4}\right)^2 = \frac{9}{16} \text{ 倍}$$

- 3** (1) 第 k 群の初項および末項は, $\{a_n\}$ のそれぞれ第 $\frac{1}{2}k(k-1)+1$ 項, 第 $\frac{1}{2}k(k+1)$ 項であるから

$$a_{\frac{1}{2}k(k-1)+1} = -2 \left\{ \frac{1}{2}k(k-1) + 1 \right\} + a = -k^2 + k - 2 + a$$

$$a_{\frac{1}{2}k(k+1)} = -2 \times \frac{1}{2}k(k+1) + a = -k^2 - k + a$$

$$\begin{aligned} \text{よって} \quad S_k &= \frac{1}{2}k \{ (-k^2 + k - 2 + a) + (-k^2 - k + a) \} \\ &= -k^3 + (a - 1)k \end{aligned}$$

- (2) (1) の結果から, $a = 212$ のとき, $S_k = -k^3 + 211k$ であるから

$$\begin{aligned} S_{k+1} - S_k &= \{ -(k+1)^3 + 211(k+1) \} - (-k^3 + 211k) \\ &= 3\{70 - k(k+1)\} \end{aligned}$$

$$\text{ゆえに} \quad S_1 < S_2 < \cdots < S_8 > S_9 > S_{10} > \cdots$$

S_k の群に含まれる項の平均は, (1) の結果から

$$\frac{S_k}{k} = \frac{-k^3 + 211k}{k} = -k^2 + 211$$

$$\text{よって, 求める値は} \quad -8^2 + 211 = \mathbf{147}$$

- (3) (1) の結果から, $a = 92$ のとき, $S_k = -k^3 + 91k$ であるから

$$\begin{aligned} S_{k+1} - S_k &= \{ -(k+1)^3 + 91(k+1) \} - (-k^3 + 91k) \\ &= -3(k-5)(k+6) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} S_{k+1} + S_k &= \{ -(k+1)^3 + 91(k+1) \} + (-k^3 + 91k) \\ &= -2k^3 - 3k^2 + 179k + 90 \\ &= -(k-9)(k+10)(2k+1) \end{aligned}$$

$$\text{よって, } |S_k| = |S_{k+1}| \text{ を満たす自然数 } k \text{ は} \quad \mathbf{k = 5, 9}$$

補足 $S_k = k(91 - k^2)$ より, $k \leq 9$ のとき $S_k > 0$, $k \geq 10$ のとき $S_{k+1} < 0$ であることに注意すると

$$S_9 = 90, \quad S_{10} = -90$$

したがって, $S_{k+1} + S_k$ は $k - 9$ を因数にもつことが分かる.

4 (1) 与えられた関数は $f(x) = 2 \cos x - a \sin x \int_0^{\frac{\pi}{2}} f(t) dx$

$$k = \int_0^{\frac{\pi}{2}} f(t) dt \text{ とおくと, } f(x) = 2 \cos x - ak \sin x \text{ より}$$

$$\begin{aligned} k &= \int_0^{\frac{\pi}{2}} (2 \cos x - ak \sin x) dx \\ &= \left[2 \sin x + ak \cos x \right]_0^{\frac{\pi}{2}} = 2 - ak \end{aligned}$$

$$a > 0 \text{ に注意して, } k = 2 - ak \text{ を } k \text{ について解くと } k = \frac{2}{a+1}$$

$$\text{よって } f(x) = 2 \cos x - \frac{2a}{a+1} \sin x$$

(2) (1) の結果から

$$\begin{aligned} \int_0^{\pi} f(x) \sin x dx &= \int_0^{\pi} \left(2 \sin x \cos x - \frac{2a}{a+1} \sin^2 x \right) dx \\ &= \int_0^{\pi} \left\{ \sin 2x - \frac{a}{a+1} (1 - \cos 2x) \right\} dx = -\frac{\pi a}{a+1} \end{aligned}$$

$$\text{条件により } -\frac{\pi a}{a+1} = -\frac{\pi}{2} \quad \text{これを解いて } a = 1$$

(3) (ア) (1), (2) の結果から $f(x) = -\sin x + 2 \cos x$
 $\cos \alpha = \frac{1}{\sqrt{5}}, \sin \alpha = \frac{2}{\sqrt{5}}$ を満たす α ($0 < \alpha < \frac{\pi}{2}$) を用いると

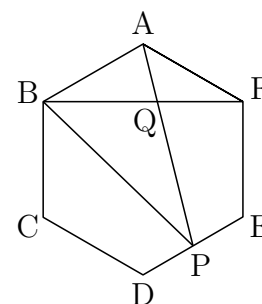
$$f(x) = -\sqrt{5} \sin(x - \alpha)$$

よって, 最大値 $f(0) = 2$, 最小値 $f(\alpha + \frac{\pi}{2}) = -\sqrt{5}$

(イ) (ア) の結果を用いて

$$\begin{aligned} \int_0^{\pi} |f(x)| dx &= -\sqrt{5} \int_0^{\alpha} \sin(x - \alpha) dx + \sqrt{5} \int_{\alpha}^{\pi} \sin(x - \alpha) dx \\ &= \sqrt{5} \left[\cos(x - \alpha) \right]_0^{\alpha} - \sqrt{5} \left[\cos(x - \alpha) \right]_{\alpha}^{\pi} \\ &= \sqrt{5} (1 - \cos \alpha) - \sqrt{5} (-\cos \alpha - 1) \\ &= 2\sqrt{5} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \boxed{5} \quad (1) \quad & \vec{AD} = 2\vec{AB} + 2\vec{AF} \\
 & \vec{AE} = \vec{AB} + 2\vec{AF} \\
 \text{よって} \quad & \vec{AP} = \frac{1}{2}(\vec{AD} + \vec{AE}) \\
 & = \frac{3\vec{AB} + 4\vec{AF}}{2}
 \end{aligned}$$



$$(2) \quad (1) \text{の結果から} \quad \vec{AP} = \frac{7}{2} \times \frac{3\vec{AB} + 4\vec{AF}}{7}$$

$$\text{ゆえに} \quad \vec{AQ} = \frac{3\vec{AB} + 4\vec{AF}}{7} \dots \textcircled{1} \quad \text{したがって} \quad \vec{AP} = \frac{7}{2}\vec{AQ}$$

$$\text{よって} \quad \text{AQ} : \text{QP} = 1 : \frac{7}{2} - 1 = 2 : 5$$

$$(3) \quad \triangle ABF = \frac{1}{2} \cdot 1 \cdot 1 \sin 120^\circ = \frac{\sqrt{3}}{4}$$

①より, $\text{BQ} : \text{QF} = 4 : 3$ であるから

$$\triangle ABQ = \frac{4}{4+3} \triangle ABF = \frac{4}{7} \times \frac{\sqrt{3}}{4} = \frac{\sqrt{3}}{7}$$

(2)の結果から

$$\triangle BPQ = \frac{5}{2} \triangle ABQ = \frac{5}{2} \times \frac{\sqrt{3}}{7} = \frac{5}{14} \sqrt{3}$$

- 6 (1) 第 k 群の初項および末項は, $\{a_n\}$ のそれぞれ第 $\frac{1}{2}k(k-1)+1$ 項, 第 $\frac{1}{2}k(k+1)$ 項であるから

$$a_{\frac{1}{2}k(k-1)+1} = -2 \left\{ \frac{1}{2}k(k-1) + 1 \right\} + 212 = -k^2 + k + 210$$

$$a_{\frac{1}{2}k(k+1)} = -2 \times \frac{1}{2}k(k+1) + 212 = -k^2 - k + 212$$

$$\begin{aligned} \text{よって} \quad S_k &= \frac{1}{2}k\{(-k^2 + k + 210) + (-k^2 - k + 212)\} \\ &= -k^3 + 211k \end{aligned}$$

- (2) (1) の結果から

$$\begin{aligned} S_{k+1} - S_k &= \{-(k+1)^3 + 211(k+1)\} - (-k^3 + 211k) \\ &= 3\{70 - k(k+1)\} \quad \cdots \textcircled{1} \end{aligned}$$

$$\text{ゆえに} \quad S_1 < S_2 < \cdots < S_8 > S_9 > S_{10} > \cdots$$

S_k の群に含まれる項の平均は, (1) の結果から

$$\frac{S_k}{k} = \frac{-k^3 + 211k}{k} = -k^2 + 211$$

$$\text{よって, 求める値は} \quad -8^2 + 211 = 147$$

- (3) (1) の結果から

$$\begin{aligned} S_{k+1} + S_k &= \{-(k+1)^3 + 211(k+1)\} + (-k^3 + 211k) \\ &= -2k^3 - 3k^2 + 419k + 210 \\ &= -(k-14)(k+15)(2k+1) \quad \cdots \textcircled{2} \end{aligned}$$

$$\textcircled{1}, \textcircled{2} \text{ より, } |S_k| = |S_{k+1}| \text{ を満たす自然数 } k \text{ は} \quad k = 14$$

補足 $S_k = k(211 - k^2)$ より, $k \leq 14$ のとき $S_k > 0$, $k \geq 15$ のとき $S_{k+1} < 0$ であることに注意すると

$$S_{14} = 14 \cdot 15, \quad S_{15} = -15 \cdot 14$$

したがって, $S_{k+1} + S_k$ は $k - 14$ を因数にもつことが分かる.

7 (1) $y = \frac{\log x}{a}$ を微分すると $y' = \frac{1}{ax}$

接点の座標を $\left(t, \frac{\log t}{a}\right)$ とすると、接線の傾きは $\frac{1}{at}$ であるから、その方程式は

$$y - \frac{\log t}{a} = \frac{1}{at}(x - t) \quad \text{すなわち} \quad y = \frac{x}{at} + \frac{\log t - 1}{a} \quad \dots \textcircled{1}$$

これが、点 $\left(0, 1 - \frac{1}{a}\right)$ を通るから

$$\frac{\log t - 1}{a} = 1 - \frac{1}{a} \quad \text{ゆえに} \quad t = e^a$$

① より、接線の方程式は $y = \frac{x}{ae^a} + 1 - \frac{1}{a}$

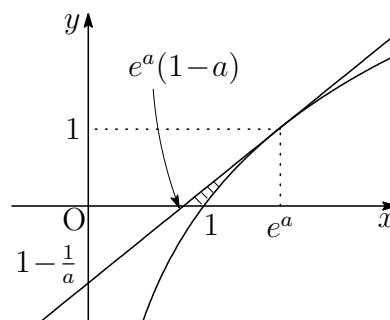
(2) 曲線 $y = \frac{\log x}{a}$, 2直線 $x = 1$, $x = e^a$ および x 軸で囲まれた部分の面積を S とすると

$$S = \int_1^{e^a} \frac{\log x}{a} = \frac{1}{a} \left[x(\log x - 1) \right]_1^{e^a} = \frac{1}{a}(ae^a - e^a + 1)$$

i) $0 < a < 1$ のとき

右の図の斜線部分の面積は

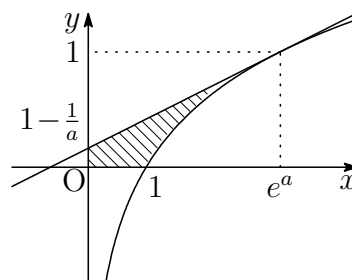
$$\begin{aligned} & \frac{1}{2} \{e^a - e^a(1-a)\} \cdot 1 - S \\ &= \frac{1}{2} ae^a - \frac{1}{a}(ae^a - e^a + 1) \\ &= e^a \left(\frac{a}{2} - 1 + \frac{1}{a} \right) - \frac{1}{a} \end{aligned}$$



ii) $a \geq 1$ のとき

右の図の斜線部分の面積は

$$\begin{aligned} & \frac{1}{2} e^a \left\{ 1 + \left(1 - \frac{1}{a}\right) \right\} \cdot 1 - S \\ &= e^a \left(1 - \frac{1}{2a} \right) - \frac{1}{a}(ae^a - e^a + 1) \\ &= \frac{e^a}{2a} - \frac{1}{a} \end{aligned}$$



(3) 曲線 C と $y = \frac{x^2}{2e}$ の接点の x 座標を u とすると

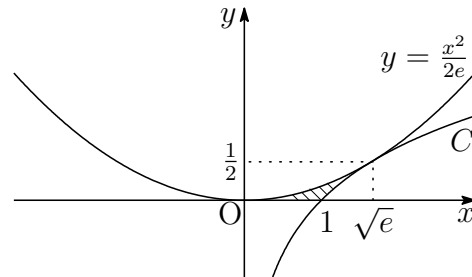
$$\frac{\log u}{a} = \frac{u^2}{2e} \quad \dots \textcircled{2}$$

$y = \frac{x^2}{2e}$ を微分すると, $y' = \frac{x}{e}$. 接点における接線の傾きが等しいので

$$\frac{1}{au} = \frac{u}{e} \quad \dots \textcircled{3}$$

②, ③ を解いて $u = \sqrt{e}$, $a = 1$

求める面積は, 下の図の斜線部分の面積である.



この面積を S とすると

$$\begin{aligned} S &= \int_0^{\sqrt{e}} \frac{x^2}{2e} dx - \int_1^{\sqrt{e}} \log x dx \\ &= \left[\frac{x^3}{6e} \right]_0^{\sqrt{e}} - \left[x(\log x - 1) \right]_1^{\sqrt{e}} \\ &= \frac{2}{3} \sqrt{e} - 1 \end{aligned}$$